〔大城 毅議員 登壇〕

○13番 大城 毅君 おはようございます。それでは、一般質問を行います。質問書提出の際、一般質問を行うきょうの日には、ウイルス問題はおさまって、この質問は過去を振り返り検証する内容になるだろうという観測をしていましたが、むしろWHOのパンデミック宣言がなされ、ヨーロッパ、アメリカと拡大し、オリンピックも延期がほぼ決まっているようです。学校の休校を質問のテーマにしましたが、現状を考えれば町民をウイルスから守る全体の施策を議論すべきですし、町内の事業者の皆さんの営業、就業の影響等、町としてできることを最大限検討し、実施すべき時期だと思います。また2021年度以降の町税の確保、あるいは扶助費の増大といった町財政も影響を受けるかもしれません。そういう問題です。また4月以降の学校がどうなるのか、見通せているかも議論すべきだと思います。その点でも、今度終わったこの休校についてしっかり検証すべきであります。政府の要請は、全国一律で、月曜日からの休校をその前の週の木曜日の夕刻に記者会見の形で行われ、自治体での決定、関係者への通知が金曜日一日しかないというものでありました。ですから南風原町を含む全国の自治体、関係諸団体は大騒ぎになったわけです。その是非は、今の時点での世界と日本の状況から見て論ずるのはふさわしくないと思います。また昨日の東京都知事会見での話によれば、都立の大学ですか、高校ですか、ちょっと不正確ですけども、新学期をゴールデンウィーク明けにおくらせることを紹介して、いわば推奨しています。県内、町内がそうならないよう、町民一人一人の取り組み、行政の取り組みにもかかわっているわけですが、事態は楽観できません。休校は一旦解除され、学校を再開し、今は春休みに入っています。順調に新学期を迎えられることを期待しますが、先は見通せません。だからこそ南風原町が政府の先月末の休校要請にどう対応したのか。客観的な事実を明らかにし、町民の皆さんに説明をする機会、検証する機会にしたいと思います。項目は、若干整理が不十分で重複などがあつたりしますので、それはその都度、適宜修正します。それでは質問いたします。

1. コロナウイルスに関わる小中学校の休校の経緯や影響を問う。(1)休校にした経緯を問う。(2)学校の履修時間は補えるのか。(3)児童生徒のこころの問題にどう向き合ったのか伺います。(4)休校について影響を問う。①その影響はどうなっているか。②学校給食の影響とその処理と書いてありますが、これは全部「対応」に変えたいと思います。その対応はどうか。③幼稚園への影響と対応はどうか。④保育園への影響と対応はどうか。⑤児童館の影響と対応はどうか。⑥学童クラブへの影響と対応はどうか。⑦その他の影響とその対応はどうか。以上についてお答えいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 一般質問にお答えする前に、今回の新型コロナウイルス感染拡大

防止の観点からの、町内小中学校の臨時休校に際し、町の学童クラブの皆さん、それから児童館を初め、ご協力いただきました皆さんに熱く御礼を申し上げます。また保護者の皆さんには大きなご負担をおかけしたことに對し、ご理解とご了承のほどをお願い申し上げます。それでは一般質問の答弁を行います。

まず質問事項の1点目、(1)でございます。国からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業の要請を受け、2月28日町内小中学校長と話し合いを行い、3月2日から、当初は24日までの休校と決めました。同日、南風原町新型インフルエンザ等対策本部に報告を行いました。3月2日に臨時の教育委員会を開催し、そこでの承認を受けたということでございます。

(2)でございます。児童生徒の学習におくれが生じることのないよう、各学校では臨時休校期間中の宿題や課題を与え、家庭での学習を促しました。登校再開後は、補修や春休みでの宿題等で対応をしております。

(3)です。児童生徒のこころのケアにつきましては、担任が電話を行ったり、心の教育相談員が必要に応じ家庭訪問を実施するなど、体制を整えて対応いたしました。

(4)につきましては、教育委員会に関するものを答弁いたします。まず①です。臨時休業中も教職員及び町採用の臨時職員は、通常どおり勤務しており、公務処理等を行いました。②です。学校の休業が決定され、小中学校の給食も同時にとめましたが、影響はなかったものと考えております。③です。幼稚園は、通常どおり運営をいたしました。⑦です。休校に伴い学校開放を中止し、各利用者へ連絡を行いました。以上でございます。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 引き続き(4)の④と⑤、⑥について関連しますので一括してお答えします。町内小中学校の臨時休業決定を受けて学童クラブと保育所へ厚生労働省通知を踏まえた要請を行いました。また、同趣旨に基づき町内4児童館も学童クラブ同様の開所を行いました。各施設からは、急な要請による対応への不安が寄せられました。以上であります。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ご答弁ありがとうございました。それでは再質問をいたします。(1)についてですが、まず時系列で今の内容をもう少し詳しく説明いただけますでしょうか。よろしく申し上げます。

○議長 知念富信君 教育部長。

○**教育部長 金城郡浩君** まず時系列ということですので、答弁にありませんでしたところから説明を申し上げたいと思います。2月27日に、議員の説明にもありましたように、18時30分、国の首相のほうから全国小中学校についての臨時休業に要請の発表がございました。同日、沖縄県教育長の記者会見による報道がなされております。翌日2月28日の午前、文科省からの要請等の通知等の確認、それから県教育委員会からの通知等を確認しております。同日、事務局のほうで午前9時ごろから教育長、それから教育部局の関係職員での情報収集を行っております。同日の11時、臨時校長会を開催して休業に関する対策会議を行いました。その中で臨時休業に対する機関と決定を行っております。2時、インフルエンザ等対策本部のほうにその旨を報告しました。3月2日、この日から臨時休業ということで学校が休みになっているんですけども、同日に臨時教育委員会を開催し、事後にはありますが、承認を得ております。以上となります。

○**議長 知念富信君** 13番 大城 毅議員。

○**13番 大城 毅君** ありがとうございます。この休校の判断の主体はどちらになりますか。お願いします。

○**議長 知念富信君** 教育部長。

○**教育部長 金城郡浩君** 主体は教育委員会でございます。

○**議長 知念富信君** 13番 大城 毅議員。

○**13番 大城 毅君** 対策本部というものが立ち上げられているというふうに向っております。この対策本部と休校の判断についての関係を教えてください。

○**議長 知念富信君** 総務部長。

○**総務部長 宮平 暢君** 対策本部で休校を判断したわけではなく、教育委員会が判断を行い、対策本部への報告がありました。

○**議長 知念富信君** 13番 大城 毅議員。

○**13番 大城 毅君** その対策本部ですけども、今回設置されている対策本部は条例に基づくものなのか、正式名称は何と言うのか。それと一方で条例と要綱を見ますと、条例にはインフルエンザ等と、「等」という文字が入っています。ところが要綱にはこの「等」がないんですね。それでこの正式名称は何なのかということを知っています。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 対策本部は、平成 25 年 3 月に可決されました。南風原町新型インフルエンザ等対策本部設置条例に基づくもので、正式名称は新型インフルエンザ等対策本部となります。同条例は、平成 24 年 5 月に制定された新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくもので、また要綱は平成 21 年 5 月に豚インフルエンザ感染症予防及び感染拡大防止のために制定された要綱でありまして、制定された時期が違いますので、要綱については豚インフルエンザに特化した要綱であり、また条例は法律に基づく、特別措置法に基づく設置であったことから「等」がある、ないという違いが出ております。

○議長 知念富信君 13 番 大城 毅議員。

○13 番 大城 毅君 それでは休校にした法的な根拠は何か。本町の学校運営規則というものの中に規定がありますが、それなのかどうか。そうであれば、その条文を述べてください。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今回の根拠になりますが、感染症としてのことが今回の原因となります。根拠法令としては、学校保健安全法第 20 条、学校の設置者は、感染症の予防上、必要があるときは臨時に、学校の全部または一部の休業を行うことができるとなっております。それが根拠となります。

○議長 知念富信君 13 番 大城 毅議員。

○13 番 大城 毅君 学校運営規則ではないということでした。

次に（２）についてですが、授業時間が 2 週間分失われております。その補償というか、言葉がきれいではないかもしれませんが、穴埋めといいますか、子供たちの学ぶ権利ですね。ある学童などでは 5 年生になる勉強を全部終わらないうちに私たち 5 年生になるんですかという声なども聞かれました。そういう意味で、子供や保護者にしわ寄せをすることなく、学校や教員の自主性を保証しながら行っていくべきだと私は考えますが、この休校期間の穴埋め、すべきだった教育についてどのようになされるか。先ほども一部答弁ありましたが、改めてご答弁願います。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今回の休業によって子供たちの学習

権の侵害はなかったと考えております。その穴埋めについてですが、まず宿題で休業になっている期間中は学校のほうでまず宿題を持たせております。今回2週間という形になったんですが、学校が再開をしまして、その後、子供が宿題を持ってきて、やはり終わらせ切れなかった子供たちもいましたので、それにつきましては学校のほうで各学級等で対応しながら、また一緒に対応したということになります。それ以外にもう少し授業が必要だった教科につきましては、令和2年度、学校がスタートしましてから、また新たに学校の補習等を行っていくという対応をとってまいります。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ところで4月に全国一斉学力調査でしたか、正式な名称は私もよくわかりませんが、小学校何年生と中学校何年生を指定して行われますね。これが予定されていると聞いています。その取り組みもあるかもしれませんが、私はやっぱり先生が教えずに、プリント等で教えたことになっているような形になってしまっているのが、本当に十分なのかということで不安ですので、これはもちろん南風原町でやるものではないし、南風原町で決定するものではないんだけど、子供たちを真ん中にして考えれば、このテストはことは中止してくれと、あるいは延ばしてくれということなど、町として声を上げるべきではないのか。町の子供たちを中心に考えれば、行政の都合や学校の都合ではなくてという意味ですが、そういうふうに思いますが、いかがですか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。全国学力学習状況調査の4月の実施については執り行わないということで県のほうから連絡がありました。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。

(3) 児童生徒のこころの問題ですが、私が先ほど紹介した中にもありましたが、これはある学童クラブの子供たちの声としていただいているものです。給食が食べられなくなるから困るという子や宿題も多くなるし、もう少しで卒業だから学校へ行きたかったという声、プリントが23枚、タクシユウが毎日、宿題が大変だと。みんなと遊べるのはいいんだけど、宿題がふえる。先生が恋しくなる。わからない教科ができなくなる。いろんな声が子供たちから寄せられているというふうに伺っています。そういうことで、例えば、またこれはまた新聞投稿の中ですけれども、子供が学校を休んでも親は仕事に行く、外に行く。ウイルスを持ち帰らないとはいえない。こういうふうな声もあったようです。極端に言えば、

学校に行かないということで、極端に言えば昼夜逆転とか、そういった生活リズムの乱れ、生活リズムが乱れるといろんなところに影響します。そういったことについてなかったかどうかきちんと把握していますか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 休業中の子供たちに対しては、学校のほうで担任の先生や町配置の心の相談員のほうが電話連絡や直接家庭訪問することにより、児童の様子を確認、ケアなどに努めております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 教育委員会は是非、課題がたくさんあつては大変だと思いますが、この子供の、やっぱり子供が中心だと私は思いますので、子供のための学校、子供のための教育委員会という観点で、子供たちがどういうふうに思っているか、考えているか。声を聞く取り組みというか、そういう姿勢で取り組んでもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん そうですね、学校のほうでは日ごろより子供たちの状況をつかむというのは先生ごとにやっておりますので、その辺は引き続き対応してまいりたいと思います。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 それでは(4)休校についての影響を問うということで、①その影響はどうなっているかということですが、先ほども答弁いただきましたけれども、例えば私は学校図書館は開放して、子供たちがそこに来たい子は勉強できる。もちろん必要な対策を施した上でですけども、あるいは教室のように人がいっぱい来るとすることも防ぎながら、といったことなどを含めて対策をしながらやっても、そういったことはできたのかできなかったのか、お聞かせください。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 今回は、大規模な感染リスクを事前に予防する観点から、

学校施設、図書館等の開放等は行っておりません。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 学童や保育園、児童館、幼稚園、開いたところの児童生徒に消毒液を提供する、あるいはマスクを提供するといったことをなさいましたか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん はい、提供いたしました。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 これはちょっと町長部局になるかと思うんですが、今後も災害用備蓄品、今、水ですとかお米とか、幾つかいっているかと思いますが、この中にマスク、あるいは消毒薬といいますか、そういったものを加えるべきだと思うんですが、この点についていかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 今後は、マスク、消毒薬も備蓄品の中に入れて備蓄してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。南風原町の学校は教室を開放していないと私は認識していますが、自治体によってはそれを行っているところもあります。そういったところもあるということを含めて、考えて、今回の南風原町の対応はどうだったのか。私は十分な対策を行った上でそういうことをやってもよかったのではないかと考えていますが、いかがですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今回は、先ほど議員の説明にもありましたようにかなり急な対応でございました。まず第一義としては、感染症の拡大を防ぐということの初動の対応として、大規模な感染リスクを事前に予防するということから学校の開放、それから学校施設を

使うスポーツの各活動等を含めて一旦停止をするということで対応させていただくことが最優先となりました。今回ご質問の、一旦いろんな準備をするということが非常に困難であるという判断がありましたので、学校の施設等については開放しないという方針を出しております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 すみません、ひとつ戻ってですけれども、私いまだに解決できない問題として、学校を休みにして、一方、保育園や幼稚園、その他を受け入れてもらうと。確かに仕事に行かざるを得ない保護者のためにお子さんをあそこで預かるというその社会性差というのか、大きな意味で言えばね。そういうふうなことを、そういう意味ではわかるけれども、先ほどから繰り返されている感染を広げないという趣旨からすれば、私は矛盾をしているというふうに言わざるを得ない。これを教育委員会はそれを判断したわけけれども、このことをどういうふうに説明なさいますか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 ご質問の部分については、我々のほうとしても保育所等、いろいろご苦労なされた方々には非常にありがたいと考えております。今回の部分については、保護者が休めない場合の対策として厚生労働省から子供の居場所を確保するという観点から要請されているものだという認識でありまして、この部分について我々として議論という形で、意見を申し上げることはちょっとできないという状況であります。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 これは確か説明いただいた全協の中でもそういう声は出ておりましたが、明確な答弁はいただけませんでした。今回もそういった議論はされていないように受け取りました。残念ではありますが、仕方がないかと思えます。一方、また学校内影響についてですけれども、ネグレクトなどで学校給食が唯一まともなご飯だという方が、今町内にどのぐらいいらっしゃるかわかりませんが、そういった声もあると聞きます。こういったことがなかったかどうか。あればどういうふうに対応されたのかどうか、お聞かせいただきたいと思えます。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 今回の臨時休業期間中において支援を要する世帯を我々のほ

うはつかんでおりました。その中で1件、緊急的な日中帯の支援を要する必要が出ましたので、我々の居場所のほうで対応を行いました。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。そういう対応はありがたいと思います。それから特別支援学級に通っているお子さん方がおられます。あるいはまたそういったお子さんの保護者へのケアで特別なことはなかったのかどうか、お聞かせください。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 休業期間中も特別支援学級の児童生徒にかかわらず、先生方は電話対応や家庭訪問等を行って対応しております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 わかりました。それから学校には学習支援員ですとか、特別支援教育支援員など、町費の職員の方々が大勢おられるかと思えます。学校が休みになることによって、基本的には生徒が来ないわけですから、仕事がどうなるかという不安があるわけですね。その点でどうだったのかお聞かせください。もし、時間が短くなるとか、休みにせざるを得ないとかがあったらその場合の補償はどうなるのか。また子供たち来なかったけれども、こんな仕事をしてもらったということがあればお聞かせいただきたいと思えます。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。まず、学校のほうに勤務されている先生方、臨時の方々も今回通常どおりの勤務となっております。休業期間中、校務処理だったりとか教材づくりとか、そういうものを行っておりますが、今回、休業に伴って各学童のほうから開けていただいておりますので、そちらのほうへも派遣して対応しております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。それでは学校給食の影響についてお伺いいたします。まず、保護者の負担する給食費の返納が出てくるのかなと思っておりますが、聞いたところでは額は1万円とかじゃないんでしょうけれども、返す件数がかなりあるということで聞いておりますが、その返納はどういうふうにするのかということと、その事務経費が相当のものじゃないのかなと想像しますので、これについて何らかの手当てがあるの

かどうか、お聞かせください。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。給食費の返還については、臨時休校中の学校給食費については返還を行う予定です。事務費の補償については、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策として、学校臨時休業対策費補助金というもので、学校給食費返還等事業というのがありますので、そちらのほうで補償ということになると思います。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 これは落ち着いてからというか、これからだと思いますけれども、是非、南風原町の教育委員会がそういう仕事もしなければいけないわけですから、これも全部町民の負担ということではやはり大変だろうと思いますので、是非100%補償してもらえるようなものであればいいと思いますが、後ほど聞かせてください。それから調理場の職員を除いて、非正規職員の方々もおられます。こういった方々の就業時間等によって対応に影響がなかったか。また補償する必要があるのではないか。あれば補償する必要があるんじゃないかと思いますが、いかがですか。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。今回の休業期間の学校給食の臨時非正規職員については、就業時間、また待遇の影響はありません。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 学校給食センターは学校の分はなくなったけれども、幼稚園の分があるということはわかっていますが、ボリュームがボリュームで大変な分が、稼働率としては下がったはずなので気になりますが、今の答弁で十分なのかどうか。またこれは後日お聞かせいただきたいと思います。それから調理場への納入業者のうち、町内の方々がおられるかどうか。その点についてお聞きします。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。町内納入業者のほうはいらっしゃいます。ですが、調べた範囲では影響はないということで報告を受けております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 あと町外にももちろん大勢、たくさん関係する業者、あるいは学校給食会というのが、そのうちのどの程度のパーセントを占めているかわかりませんが、かなり大部分だと思いますが、その点について影響があったかどうかお聞かせください。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 学校給食が再開した16日以降のほうに振りかえられる分は振りかえて給食を提供しておりますので、影響はなかったと考えております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 答弁ではそうで、南風原町側は影響がなかったという答弁だろうと私は思うんですね。ところが納入予定だった2週間分が、日によって違うんでしょうけれども、幼稚園の分を除いて消えたわけですから、予定していた分がそれこそ一挙に2週間分が消えた、月の約半分消えたわけですから、納める側とすれば影響がなかったはずがないわけです。このことは全協でも指摘しましたが、私の考えですけれども、こういった納入契約については、そういう相手は甲乙、契約書上では甲乙の関係で同等だということではあるんですけども、私は一方的には、今回注文できませんとならざるを得なかったと思うんですね。パンの話もありました。そういうことだと電話するほうも大変心苦しいでしょうし、相手はもちろん状況がわかっているという前提であっても、実際、相手の事業体としては売上がその分減るわけですから、大変大きな問題だと思います。ですから甲乙同等の関係であるとはいえ、地域の経済を一緒に回していく、発展させていく、そういう助け合う同士だと。一方では私はそう思います。相互にできることを考えたい、やりたいと私は思うんですね。購入できなかった食品、物にもよりますが、例えば食品や食材などを役場のスペースを借りて役場職員や来庁される皆さんに購入してもらう機会をつくるとか。あるいは弁当持参でやっていらっしゃる学童、今回朝からですから、それはまたお母さん方、保護者の負担にもなっているわけですから、そこに紹介をするとか。そういったできる努力を私はやるべきじゃないかと思いますが、その点はいかがですか。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。学校給食停止の早目の対策をとったため、購入できなかった食品、食材はこちらのほうにはないということです。納入業者からの相談がありましたら、私どもも相談を聞いて、適切な部署へ紹介をしていきたいと思っております。

す。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 実際に牛乳はマスコミあたりでも大分クローズアップされましたけれども、やはり生鮮食品、当然、この一、二週間は来るものだと通常想定して3月分の事業計画をつくっているはずなんです。ところが国の方針によってこうなったというのが実態ですから、生鮮食品ですね、卵や牛乳や。そういったものなどはやはりどこかでは滞るわけですね。南風原町は注文していなかったからいいんだというところだけで私は、それはそういう面もあるけれども、それはそれだけでは済まないという関係を持っているんじゃないのかなと私は思いますので、この件は今後終息すればいいわけですがけれども、そういった点ではそういったことだけでいいのかと。注文がなかったから納めませんでした。注文前だったからいいんだということだけでは寂しいものがあると思います。

次に幼稚園について伺います。登園率等について変化があったかどうか、お伺いします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。登園率に変化はございました。休校期間中の登園率は平均して85%となっております。

[大城 毅議員より「休憩願います」の声あり]

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩 (午前10時42分)

再開 (午前10時42分)

○議長 知念富信君 再開します。学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 通常は、大体休まれるのは1%から2%の子供たちとなっております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 保護者が家庭で見ていただいたということかと思えます。家庭の協力だったんじゃないかと私は理解します。それから運営上に影響はなかったかどうか。そして園児や教諭の状況、生活リズム、心身の様子、こういったことは何かなかったかどうかお

伺います。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。幼稚園は通常どおり運営しておりますので、運営上の影響等はありませんでした。園児、教員の生活リズム等については、通常どおり運営しているため、生活リズム等についても普段どおりの過ごし方となりました。ただ自粛している、家庭保育を行っている園児につきましては、家庭で規則正しい生活を心がけるよう呼びかけを行っております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。先生方や子供たちへのマスク、消毒剤、こういったものは届いたでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 園児へのマスクの配布は行っておりません。先生方へのマスクや消毒液の配布を行っております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 今度は保育園についてお伺いいたします。同じように登園率がどうだったのか。小規模保育園と、60名規模とかの保育園がありますよね。こういったところで何か違いもあるのか。いずれにしる影響と対応についてお聞かせください。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。小中学校の臨時休校を受けて、我々小規模保育園を含む全町内保育園へ要請の説明会を行いました。その中で出た影響の心配としては、感染対策への不安、保育士の、保育スタッフが小中学生の保護者だということで勤務シフト影響への不安などがございました。そういったところを消毒あるいは手洗いの徹底などの感染症対策、また家庭保育への協力願いを園独自で行っております。また登園率に関してですが、今回、休校が始まった3月2日から5日までの数字が届いております。それ以降については、まだ、園のほうで集計があるので届いていないんですが、いわゆる家庭保育などを行った人数については、全体で約2,000名の園児がいる中で221名の家庭保育、126名の発熱等で休園をしたというような報告が上がっております。以降については、また

引き続き園からの数値を収集していきたいと考えています。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。特に小さなお子さんを持つ保育士もかなりいらっしゃるんじゃないかなと思いますけれども、こういった方たちはみずからの子供のことも心配。当然ケアしながら、また仕事として、保育園で仕事をする。これは幼稚園も同じかもしれませんけれども、そういった人たちについては休んだりということが出てこなかったかどうか心配ですが、どうでしょうか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 各園からの報告で、やはり保育士のほうもお休みをいただくという現状は確認をしておりますが、各スタッフ、代替保育士などの対応がされておりますので、そこで運営を図ってまいりました。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 先ほど幼稚園にもお聞きしましたがけれども、マスクや消毒薬、これは子供たちも含めて先生たちもちろんですけれども、役場が手助けをしたりしたでしょうか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 まず、各園に消毒薬のほうを配布いたしました。またマスクについては、政府のほうから布マスクの配布がありますので、それを全て取りまとめている状況でございます。また園児においては、マスクの配布は行われませんでした。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 次に児童館についてお伺いいたします。子供たちの利用状況はどうなっているかお伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。臨時休校期間中の児童館利用は、本部園を

除く3園は全て人数が少なくなりました。本部園については若干ふえたということで、平均して10名程度ふえたという報告が上がっております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 私は実は、本部児童館を訪ねましたけれども、厚生員さんによると3倍ぐらい来ているんじゃないかということでした。私はそういうふうに承りました。それと通常であれば午後からの開園というか、開館ですけれども、朝から開けざるを得ないということになります。そうした場合、就業時間が毎日押されることになるわけですが、3名いて、あれですよ、かわりばんこにやっているわけですよ。その点で時間が延長されているわけですが、この辺はどういうふうに補償、補?なされますか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。シフト調整により、この部分の時間は対応しております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 私が行ったときにはかなり子供たちも元気に走り回っておりましたけれども、本部は確かに学校のすぐそばじゃないものですから、小学校と離れているものだから、通常来ない子供たちも学校が休みですから、通常来ない、喜屋武や山川、神里からも来るといってお話でありました。同じようにマスクや消毒剤の配布はどうでしたか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 こちらも保育園同様、消毒剤の配布は行いました。マスクについては、スタッフのみの配布でありまして、利用児童については配布は行っておりません。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 兼城の児童館も訪ねましたけれども、マスク着用してくださいということが張られていてですね、ところが子供たちは何人かはやっていますが、そうでない子供たちもかなりいるという印象でした。

続いて学童クラブについてですけれども、朝からオープンしたところや通常どおりの午後から開けたり、あるいは一旦朝から開けたけれども、後で変更したと、途中から変更した

という学童があると聞いています。21 学童の状況は主にどのようになっていますでしょうか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。臨時休業時間中の午前中の対応ですが、実施時期にばらつきはあるものの、全て 21 学童、午前中からの対応を行いました。

○議長 知念富信君 13 番 大城 毅議員。

○13 番 大城 毅君 ありがとうございます。短期のアルバイトを雇ったりとか、あるいは時間が延びたわけですから、これについては補償の話は聞いておりますが、全部の学童クラブに適用、対応できるのでしょうか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。ほとんどの学童については、午前中からの対応で、シフト調整で対応ができましたが、一部の学童においては臨時のアルバイトを雇って対応を行ったという報告を受けております。その臨時休校中対応ということで、厚労省のほうから運営費、また人件費に関しての補助が示されておりまして、その内容について学童とやりとりをしているところでございます。

○議長 知念富信君 13 番 大城 毅議員。

○13 番 大城 毅君 どうもそれぞれありがとうございます。そのほかの影響ということで伺います。子供元気ルームというのが運営されております。ここではどうだったのか。それからマスクや消毒剤はどうだったのかお聞かせください。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。まず消毒剤については、もう既に対応がされていたということで、我々のほうの申し出を行いました。もう既に準備されていたことでした。影響などについては、先ほど答弁で申し上げましたとおり臨時休校中、新たに 1 名の支援を行ったところでございます。

○議長 知念富信君 13 番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。マスクの配布については、スタッフの分はそれぞれ配布されたということを理解いたしました。また子供たちの分についてまではできなかったということで、残念です。今確かに市場でも大変だという、探せないという情報を聞いていますので、それは仕方がない部分があるのかなと思います。マスクの配布についてはさいたま市が幼稚園などに配布をして、一部の学校を排除したということが非難されていますけれども、とにかくにも配布はしています。是非そういったときに南風原町も対応できるようにお願いをしたいと思います。それと今回最後ですので、神里部長にお願いします。経済的などころなどで町内の事業者の皆さんは大変だと思うんです。そういったことについて、どういうふうを考えるのか。部長は退職ですけれども、是非部長のほうから状況についてのことと、それから決意がありましたらお聞かせください。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 お答えします。私のほうで把握している部分は、主に工事等、またコンサルタント業務に係るコロナ対策のご質問かと思っておりますけれども、これは国交省のほうから2月の末に、同時期に通知がございまして、3月15日まで、当面3月15日までの期間ということでそのときには出ておりましたけれども、工事の、先ほどの学校の臨時休校とか、それに伴うもので従業員が子供の面倒を見ないといけないことで工期の延期を余儀なくされるとか、それについては行政側も工期の延期をなさないとか、そういったものが通知としてございました。その際の適用につきましてはやむを得ない事情として延期を適切に対応なさいとことの通知がございました。あと、産業的なものにつきましては産業振興課のほうから答弁しますので、すみません。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 中小企業については、影響があった場合にはセーフティー、読み上げます。中小企業セーフティーネット資金が、町がやっていますけれども、あとは国のほうでは無利子、無担保の補償融資ということで、あと県のほうについては急なキャンセルで支障が出たときには、ソフト交付金というような、国、県、町とさまざまな支援を企業に行っております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 是非商工会等とも協力していただいて、情報の提供に努めていただきたいと思います。それから神里課長も今回退職ですけれども、公民館とか図書館はどうだったのかお聞かせください。

○議長 知念富信君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 まずは図書館のほうからですがけれども、図書館は主に図書の貸し借りをやりまして、中二階に勉強するところがありますけれども、そこは閉館、閉めております。できるだけ長居しないようにということで、腰掛けを事務所のほうに置いたりということで、図書館に関しては図書の貸し借りを優先的にやりました。あと子供だけの入館をご遠慮くださいとかですね。公民館はそのとおりやったんですがけれども、公民館は利用者が黄金ホールを借りる利用者がみずからキャンセルしていただきましたし、あと子供たちを、するサークルはみずから利用はしなくなりまして、あとは利用する団体の皆さんには十分注意してくださいという注意喚起をいたしました。あと文化センターもあるんですがけれども、文化センターもほとんど団体客はキャンセルになりまして、壕のほうも飛び入りで入ることはあったんですがけれども、向こうも大体30分に1回ということになりますので、ほかのところから1人、2人来たという状況はありました。以上です。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ちょっとこれは実は、議長にお許しいただいて、通告外であります。時間がありますのでお願いしたいと思います。まず1番目に、コロナの影響で収入が大幅に減額した保護者があり得ると思っています。南風原町就学援助規則の第2条の(2)のアイウエオとあって、そのオのほうに、その他教育長が就学援助を行う必要があると認めるものという規定がございます。私は、これからどうなるかにもよりますが、こういったときのための条項だろうと考えています。大幅なというのはどのぐらい見るのか等もありますけれども、それは教育長が必要があると認める必要があるわけですが、この条項を活用するかもしれないとは思っていますが、教育長の見解を伺います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今回の就学援助のこの部分に対しては、我々のほうでも再度内容を確認させていただきました。読み上げていただいた大幅なという部分も含めて、今、現状がまだ不明確な状態でありますので、これから起こり得ることも含めてしっかり検証はさせていただきたいと思っております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 それから今の全国状況、世界の状況、県内でもまた新たな感染者が、2人ほどですか、その後、出ました。4月以降の休校ということもあり得るんじゃないかと

いうふうな見方もできると思います。その点について、今どういうふうに見ておられますか。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 今まさに予測が非常に困難だという状況だというのはそれぞれが承知していることだと思います。そういうこともございますので、4月以降全くないというのは決して言えない。ただし、休校の条件といえますか、基準というの、県内で発生したからとか、町内とか、その学校でなのかといの刻々変化して、そのときに、やはり守るべきは我々は児童生徒であり、町民の皆さんであるということがありますので、そういったふうなことをしっかりと対応できるように検討が必要だというふうに思っております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 このウイルスから町民の健康と暮らし、営業、仕事、就業をですね、守ることが町政の大切な役割であって、また町民の期待だと思っています。これに応えるために、もちろん関係機関、国、県、あるいは緒機関への要請も含めて、町長はこれからどういうふうに対応されるかお考えがありましたらお聞かせください。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 毅議員のご質問にお答えいたします。まさに今、これは町を挙げて、あるいは町民を挙げて対応すべき状況だなということは私も考えております。ただ、現段階では国や県から示されるいろんな周知といえますか、対応策。それを各所管でもって、異論のないように対応していくということに専念をしているわけでございますけれども、今後考えられますのは、先ほど来、議員ご質問の町民の皆さんをどう支援していくかというようなことだと、もちろん生活困窮世帯に関する、あるいはまた中小企業の皆さんの事業の落ち込みによる補償とか、そういったふうなことにしましては、やはり沖縄県とか那覇市とか、我が町とは全然、財政規模の違う部分ではそれなりの独自の予算化も打ち出しているんですけども、今現在、町としてはなかなかそういうふうな段階で、そういった状況ではないということがございます。しかしながら、やるべき必要性が出た場合は予備の範囲内で対応するとか、あるいはまた新たに予算化しないといけないときは、もちろん議会に相談とか、相談ではなくて議会に審議をしていただくとか、そういったことはやるべきだというふうに認識いたしておりますので、そのようにご理解お願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 おっしゃるように、南風原町の希望だとか、さまざまに考えれば、

町としてできることというのはそう多くはないかもしれませんが、もちろん各国、県からの方針といいますか、そういったことをそれぞれやっただくというのは当然のこととしながら、多くはないかもしれませんが、しかし、それを絞り出すことが私は求められているのではないかと思います。各部各課で町民の影響の検討、実態の把握、町としてできる施策の検討を町長のほうからも指示をしていただくべきではないかと思いますが、そのふうなところについて、町長、決意も含めて、再度お願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。先ほども答弁いたしましたけれども、現段階ではそれぞれの監督官庁といいますか、そういったところからの指導あるいは指示に基づいて、それぞれの所管でいろんなことを調査検討しているという段階でございます。それをまた見きわめまして、もっと深く調査すべきとか、そういった部分があればまた私のほうからも各所管に指示をしてみたいと思いますが、現段階では、本来やるべきことは監督官庁から指示をされておりますので、それについてしっかりと担当者としては対応してもらいたいということで、対応いたしております。以上でございます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 最後になりますけれども、今の議論が4月以降の対応に生かされるように、したい、わけじゃないんです。そういったことにならないように、事態が終息することをもちろん願うわけですが、ただ、いかなる事態が出てくるのかということについては全くわかりません。そのときには生かされるように願うばかりであります。そもそも国全体では、1995年以来、保健所は半分に減らされているようです。職員も激減をしていると聞いております。イタリアでは過去5年で758の医療機関が閉鎖をしていると言います。人災の側面も否めない部分があると思います。今回の休校は保育士が不足しているとか、学童支援員の皆さんのキャリアが十分積んでいないとか、普段から指摘をされている。本町だけではありませんけれども、全体としてこういったふうに課題がある。こういったところに負担が残念ながら寄せられているというふうに私は認識しています。ともあれ、学童、保育園、幼稚園、児童館、小中学校関係者の皆さん。あるいは町長、教育委員会、教育委員長、役場職員の皆さんには大変短い時間に対応に当たられて、心から感謝を申し上げて、今後、町民一丸となって感染防止に取り組みましようということで終わります。ありがとうございました。